

岡本一平 いちへい 漫畫家。明治十九年六月十一日北海道函館生れ、昭和二十二年十月十一日歿（六六―九四）。筆名一平生、一平逸民等。

明治四十三年東京美術學校西洋畫科卒。大正元年東京朝日新聞社に入社、漫畫漫文を執筆、人気作家となる。十一年歐米漫遊。のち漫畫自由研究会を興し、宮尾しげき、近藤白出造、杉浦幸雄等を育成。妻は小説家岡本のり子、前衛畫家岡本太郎はその長男。

著書『卍卍畫詩』（合著・鹿嶋櫻卷編、明治四十四年九月十五日東京國氏書房）、『探訪畫題』（大正二年六月十五日磯部甲陽堂）、『小

平彌太人生問答』（江原小彌太共著、大正十四年八月十八日越山堂）、

『一平傑作集』（大正十五年九月十五日磯部甲陽堂）、『經濟隨想』

（合著・東京朝日新聞經濟部編、昭和二年五月七日日本評論社）、『人

の一生』（昭和八年六月十五日新潮社「新潮文庫」）、『漫畫講義・

第一卷』（合著・日本漫畫會編、昭和八年十一月十日建設社）、『往

年の學風』（合著・朝日新聞社編、昭和十五年八月二十日朝日新聞

社）、『隨筆集』、『私の隣組』（合著・大政翼賛會宣傳部編、昭和十七年

十月五日翼賛圖書刊行會）、『のり子の記』（昭和十七年十一月二十

日山梨館）等。

